

# (仮称) 上高田五丁目公園 整備事業について

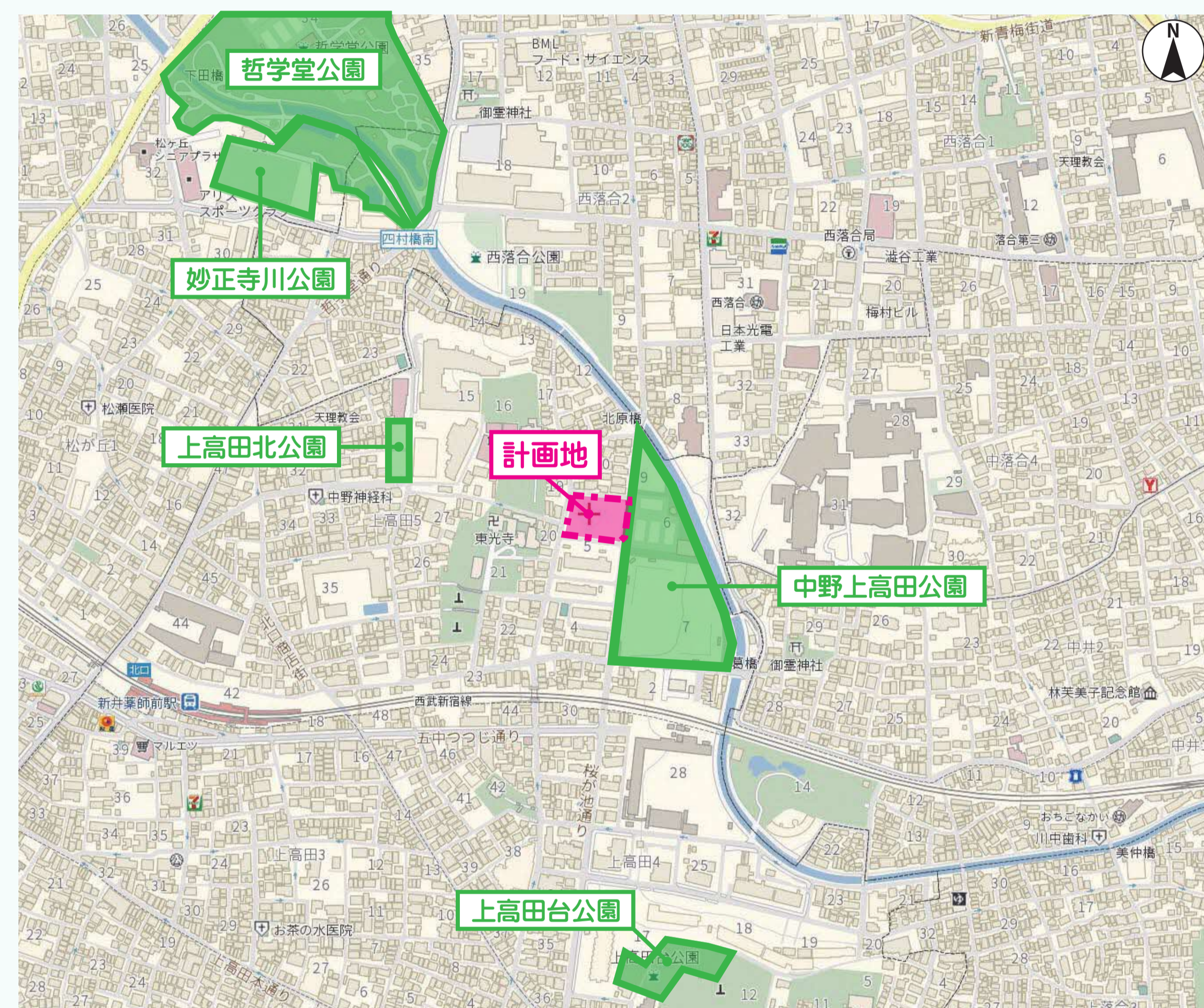
## 計画地の経緯

中野区では、国家公務員宿舎跡地活用を進めており、かつて国家公務員上高田宿舎1号棟があった、計画地は新しく公園を整備する方針となっております。

## 位置と面積

位置：中野区上高田五丁目 5 番1号

面積：約 0.27ha



©NTT 空間情報

## 今後の予定

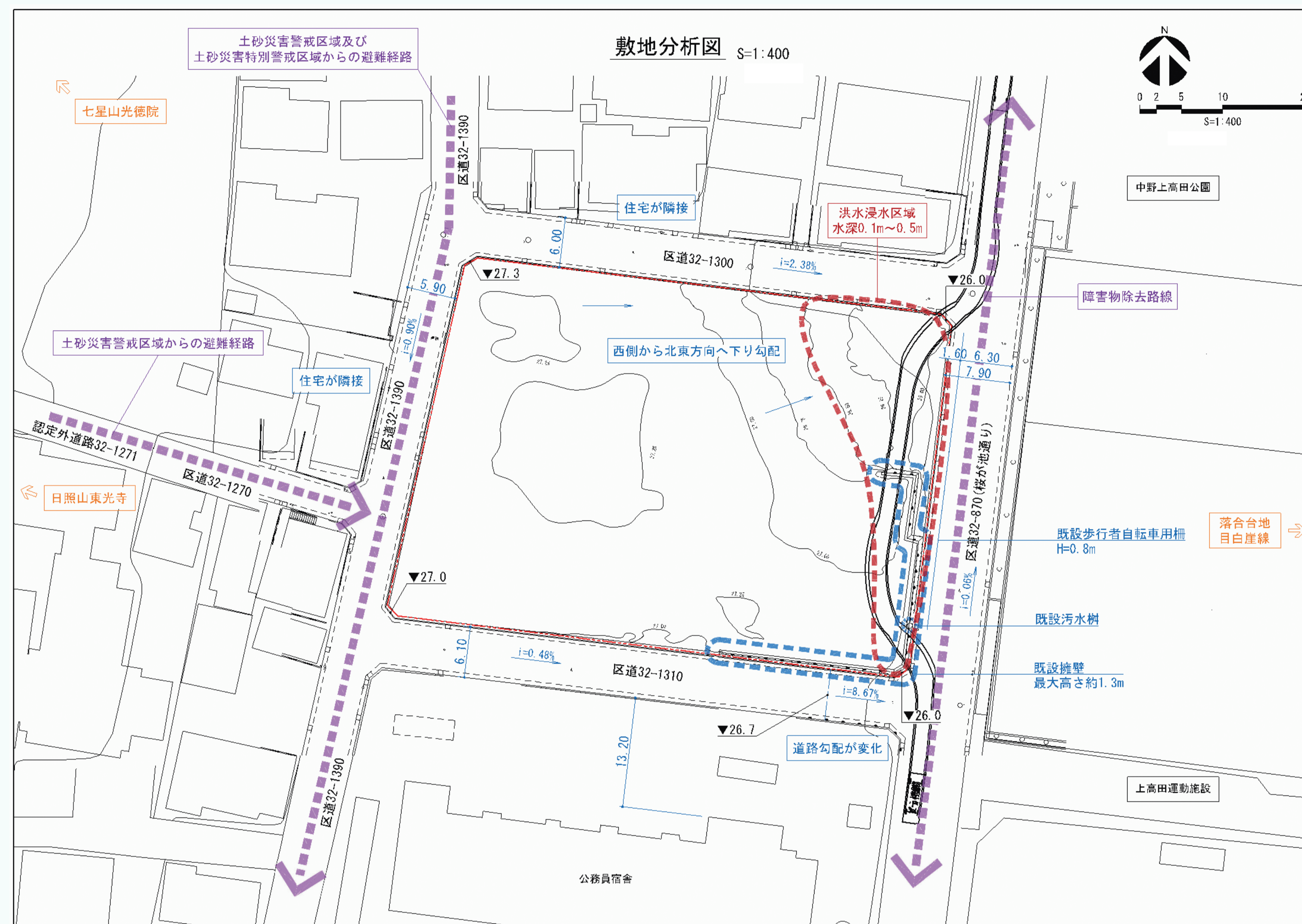
令和 5 年 9 月～ 都市計画（原案）説明会  
オープンハウスの開催

令和 6 年 2 月～ 都市計画（案）の説明会  
都市計画の案の縦覧

令和 6 年度～ 中野区都市計画審議会への諮問  
都市計画の決定、事業認可

令和 7 年度～ 整備工事

## 計画地および周辺の特徴



## 公園整備の基本的な考え方

### ①地域住民等による公園利活用の促進

- 身近な公園緑地として利用されるよう、地域住民や公園利用者が快適に交流し、憩うことができる場として整備を行います。
- 地域特性や利用状況に適合した施設整備を行い、公園利活用の促進を図ります。

### ②良好な都市環境の形成

- 周辺の自然環境に配慮した整備を行い、水とみどりのネットワークの形成を計ります。
- 地域全体の緑の質や景観性の向上に寄与します。

### ③防災機能の確保

- 本計画地は東京都指定の広域避難場所「哲学堂公園一帯」に含まれることから、周辺と連携し、一体的な災害対策が可能となるよう、防災機能が確保される整備を行います。



# (仮称) 上高田五丁目公園 ゾーニング (案)

## ■地域住民等による公園利活用の促進

### ①多様な利活用が可能な場の整備

レクリエーション機能  
にぎわい機能  
休憩機能

### ②地域特性を踏まえた機能・役割に基づく整備

遊び機能  
自然とのふれあい機能  
交流機能

## ■良好な都市環境の形成

### ①周辺環境を考慮した植栽等

環境保全機能  
防災機能  
生活環境保全機能

### ②周辺連続性の充実と魅力の向上

景観機能  
自然とのふれあい機能  
学習機能

## ■防災機能の確保

### ①オープンスペースの設置

一時避難機能  
延焼防止機能  
がれき処理・救護・復旧等の活動拠点機能

### ②防災活用公園施設の整備

帰宅支援場所機能  
身近な防災活動拠点機能

## 多目的広場・交流ゾーン

避難・防災機能、にぎわい・交流機能、レクリエーション機能確保のため、まとまった面積を持つ広場として計画地中央部に設定する。

東側は障害物除去路線機能の確保を目的とし、車両による搬出入が可能となるよう南東部及び北東部に出入口を設置する。

西側については、避難経路からのアクセス性の向上を目的として北西部及び南西部に出入口を設置する。

## 緑陰・休憩ゾーン

計画地は平坦で開けた地形となっており、南側の公務員宿舎から約13mの離隔も取れていることから日照が多い。快適な公園利用のため、緑陰の形成を目的として高木を植栽する。高木は周辺の緑と連続性を持たせる樹種とし、景観性の向上を図る。高木の近傍には休憩施設を設置し、落ち着いて憩うことが出来る空間を創出する。

## 緩衝・修景ゾーン

一般住宅が隣接する北側及び西側については、住民の生活環境に配慮し緩衝帯を設ける。緩衝帯には視線の遮蔽機能や防災機能として中高木を植栽する。また、四季の変化を楽しむことが出来る修景植栽を行う。

南側についても同様に緩衝帯を設置し、中低木等による修景植栽を行う。

東側については、主に歩道部と接している点や景観の開放性を考慮し、低木等による修景植栽を行う。

## 子どもの遊び場ゾーン

緑陰・休憩ゾーンに隣接して、子どもが遊ぶ施設を設置するエリアを設定する。保護者や地域住民が近くにいることで安全性の向上を図るとともに、公園利用者の交流を促進する。

遊具については、「中野区公園再整備計画」における幼児遊具の拡充やユニバーサルデザインに対応した施設への更新等の方針を考慮し、**誰もが遊べる遊具**を導入する。





# 誰もが遊べる児童遊具広場ってなんだろう？



「誰もが遊べる児童遊具広場」と聞いて、どんな空間を想像しましたか？

みんなで遊べる大きい遊具がある広場、わくわくするような遊具がある広場、小さい子も遊べる広場・・・

公園はいろんな子どもたちが遊んだり、楽しんだりできる場所です。

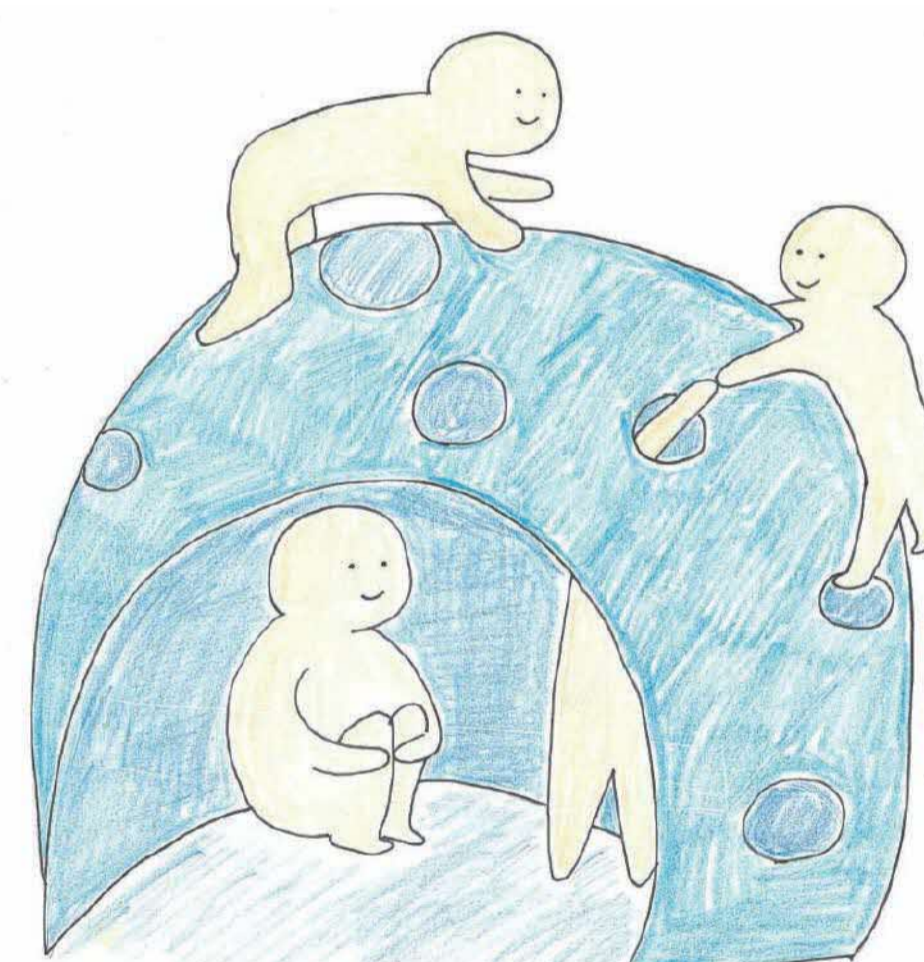
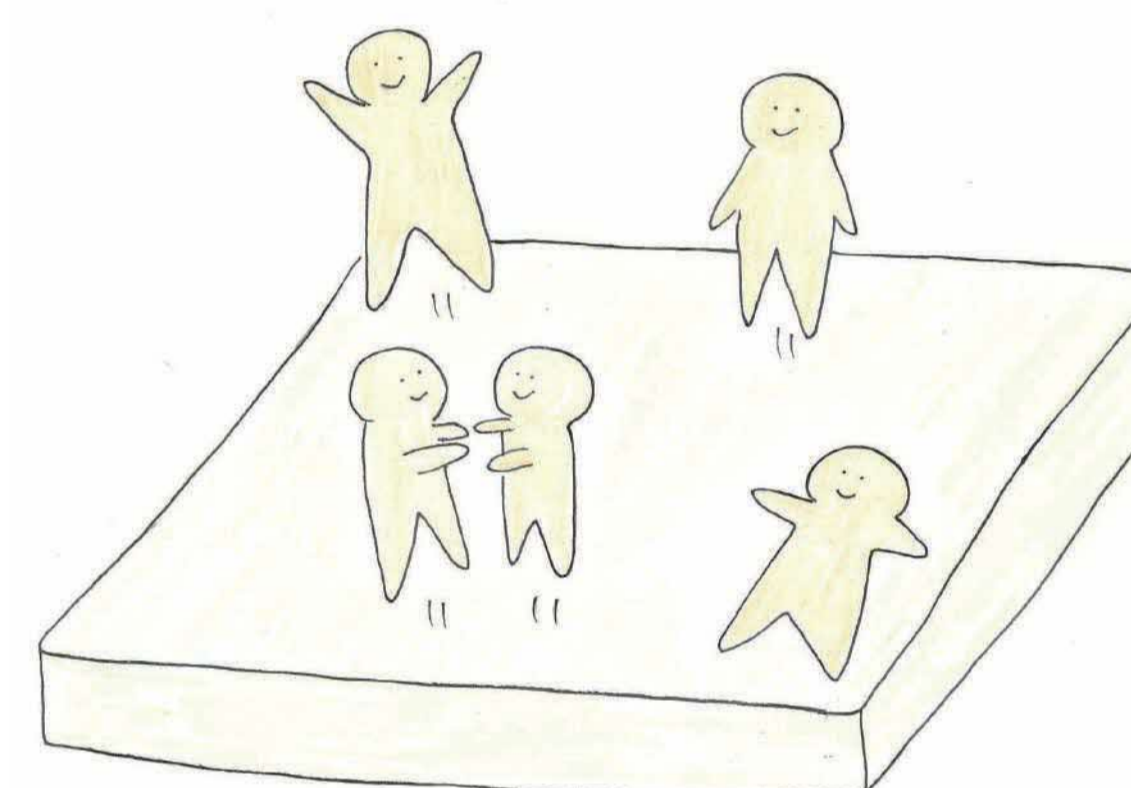
誰も排除することなく、ひとりひとりの個性を尊重し、どんな「違い」も公平に「包み込む」。

年齢や性別、国籍や障害の有無などに関わらず、すべての子どもたちが遊べる場所が「誰もが遊べる児童遊具広場」です。



## 誰もが遊べる児童遊具広場づくりで大切な5つのポイント

- 1 アクセシビリティ：誰もが公平にアクセスできる
- 2 選択肢：誰もが自分の好きな遊びを見つけられる
- 3 インクルージョン：誰もが対等に遊びに参加し、相互理解が深まる
- 4 安心・安全：誰もが危険にさらされることがなく、のびのび遊べる
- 5 楽しさ：誰もがワクワクしながら、自らの世界を大きく広げられる



## 誰もが遊べる児童遊具広場に設置する遊具例

例1：車いすのまま遊べる遊具



音が出るパネル遊具

例2：姿勢保持が難しい子も一緒に遊べる遊具



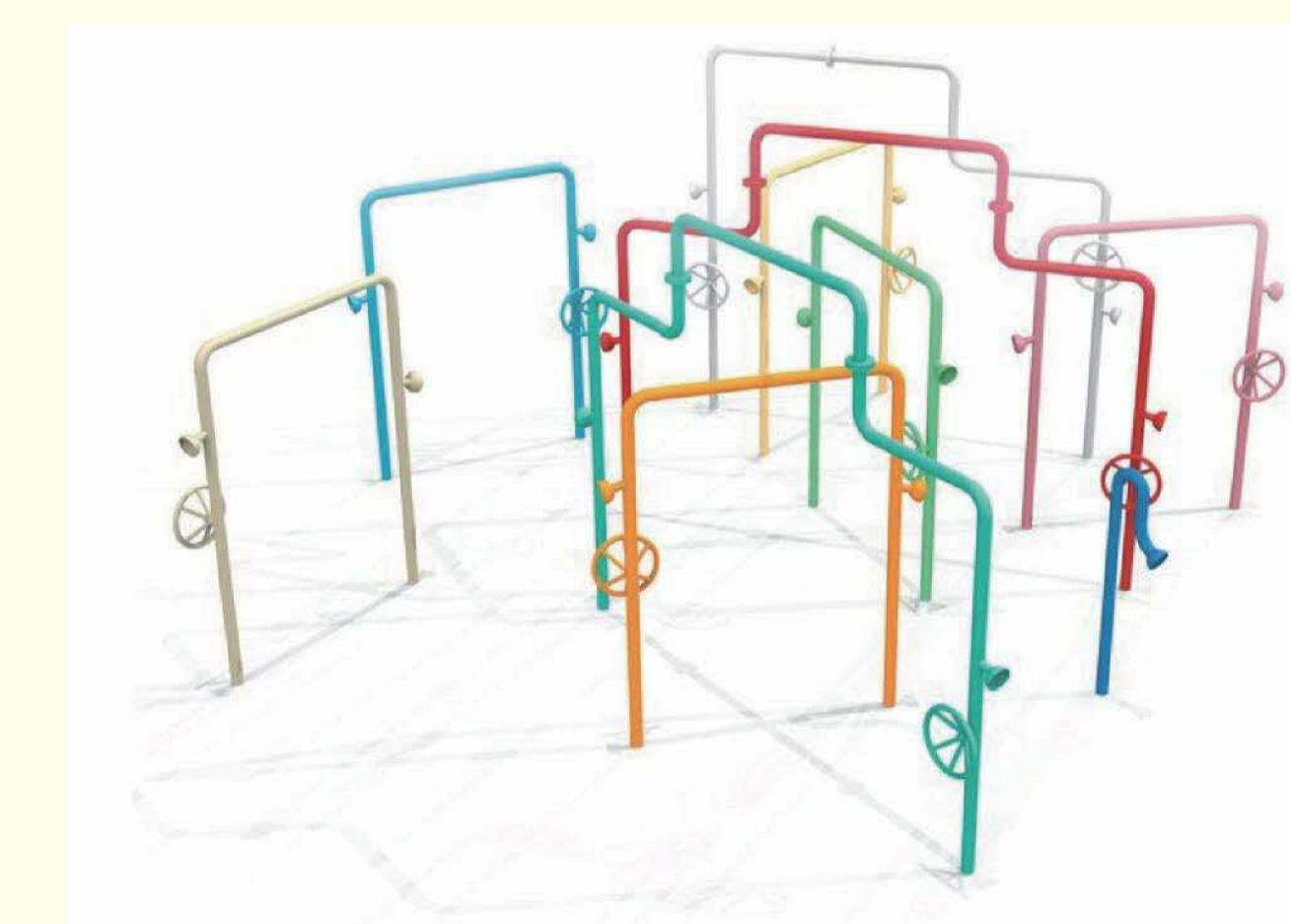
サポート付きブランコ

例3：落ち着ける場所がある遊具

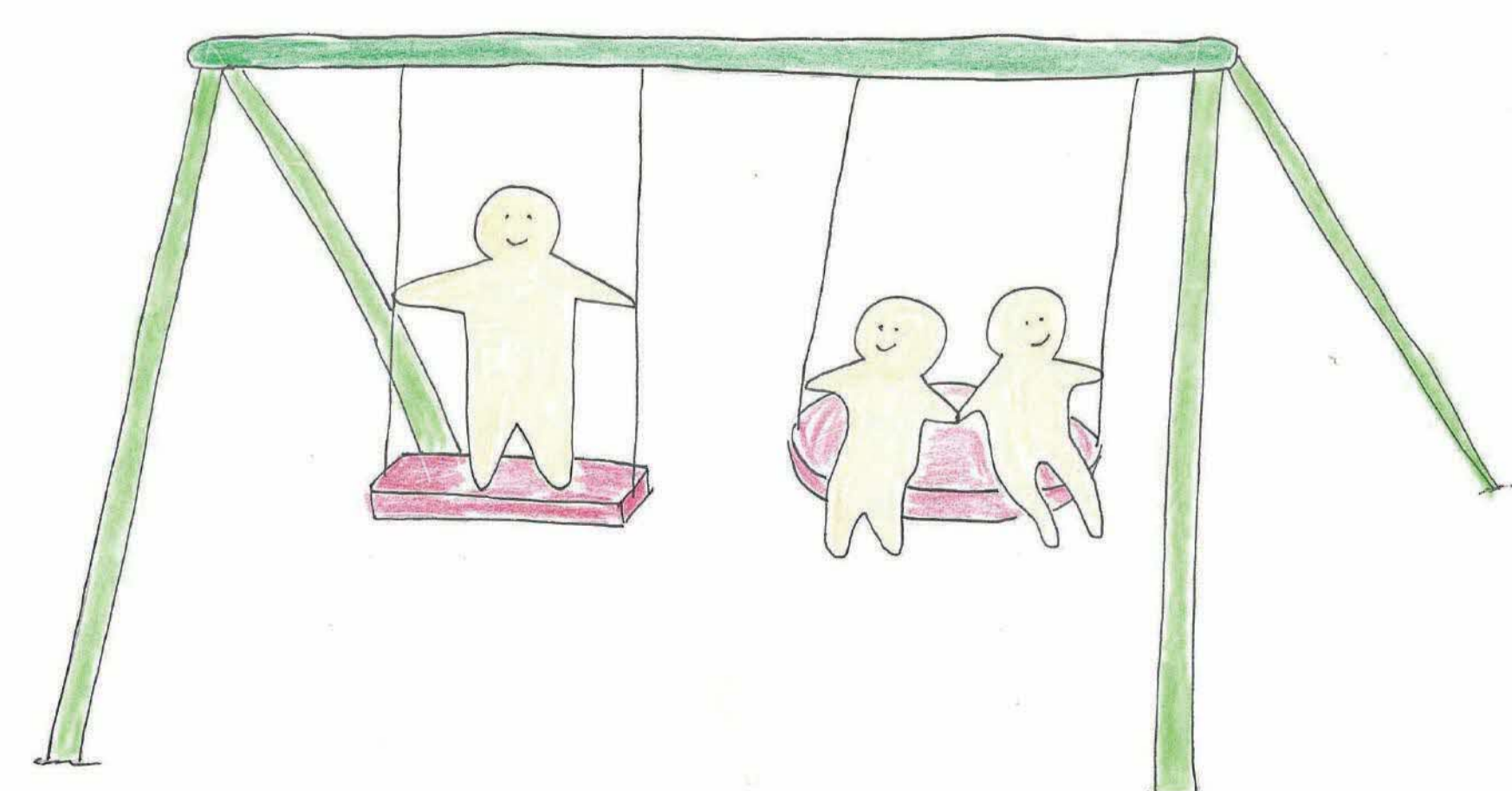
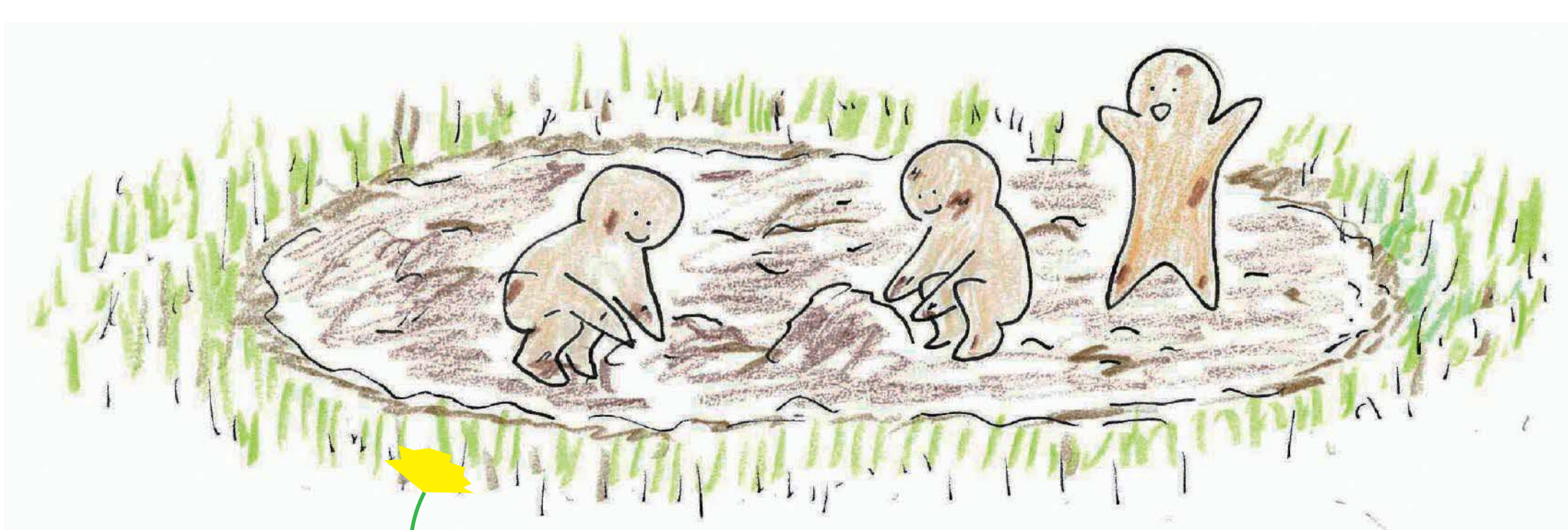


居心地の良い空間のある遊具

例4：五感で楽しめる遊具



離れた場所とお話できる遊具

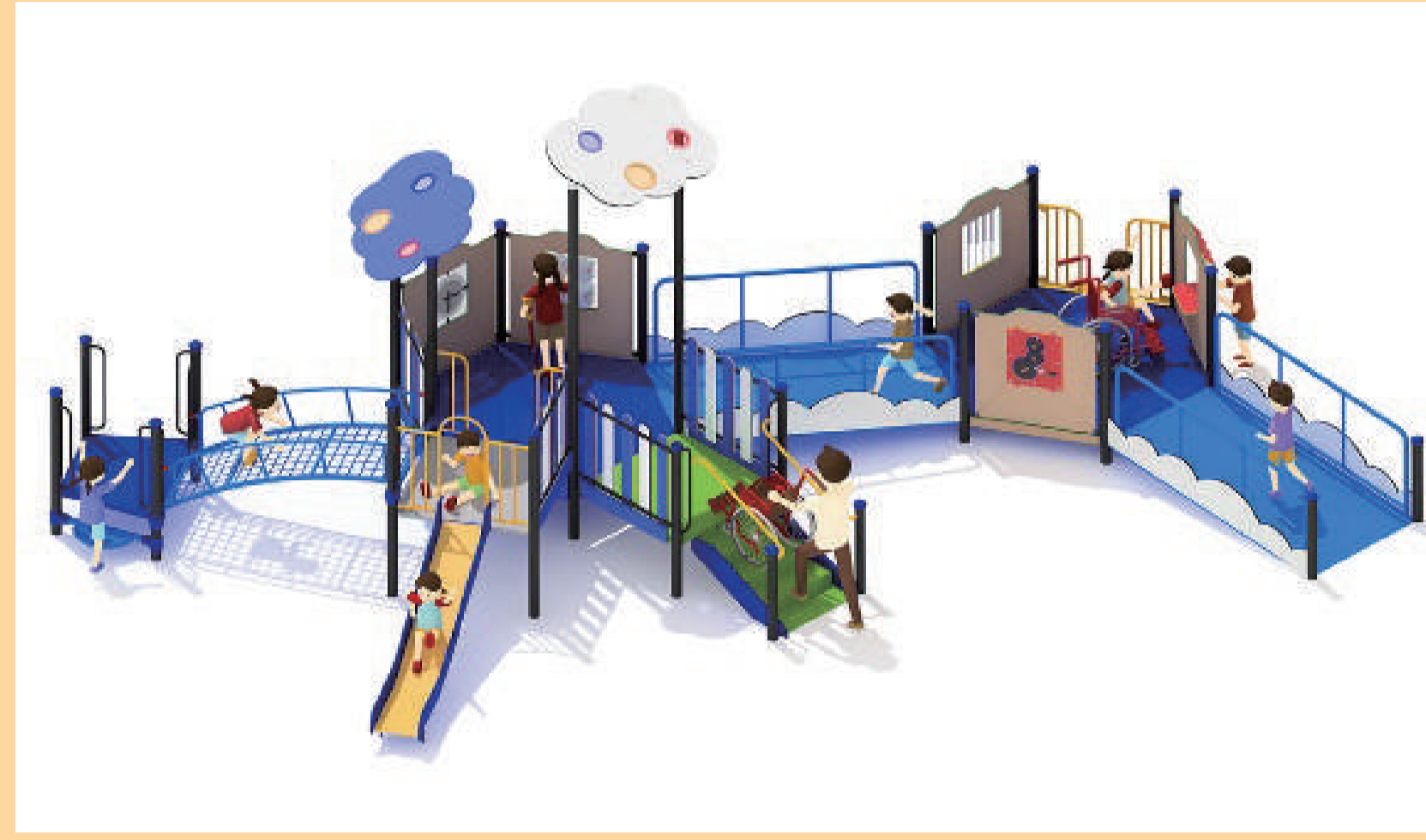




# (仮称) 上高田五丁目公園 導入施設 (案) 誰もが遊べる遊具

基本計画(案)では子どもの遊び場ゾーンに、誰もが遊べる遊具の導入を計画しています。誰もが遊べる遊具には様々な種類があり、それぞれ遊びの要素が異なります。以下は導入を検討している遊具例になります。どの遊具が公園にあるとよいか、いいね!と思った遊具にシールを貼ってください。また、誰もが遊べる遊具についてご意見などがある方はふせんに記入して、⑩その他のマスに貼ってください。

## ①複合遊具



車椅子のまま楽しめるポイントや、乗り移りポイントがある。介助しやすい導線も確保している。多様な遊び要素を持つ複合遊具。遊具の規模も小規模から大規模まで様々ある。

公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。

## ②回転系遊具



回転を楽しむ遊具。車椅子から乗り移りしやすく、背もたれの高いハイバックシートがあるため、姿勢の保持が難しい子ども安定して座ることができる。

公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。

## ③居心地の良い空間



3~4人で入れる程よい狭さのドーム。賑やかな遊び場から逃れたり、1人や少人数でゆっくりと過ごせるスペースである。

公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。

## ④ブランコ



サポート付きのため、安全に座れる。姿勢保持が難しい子どもでも大きな揺れを楽しめる。

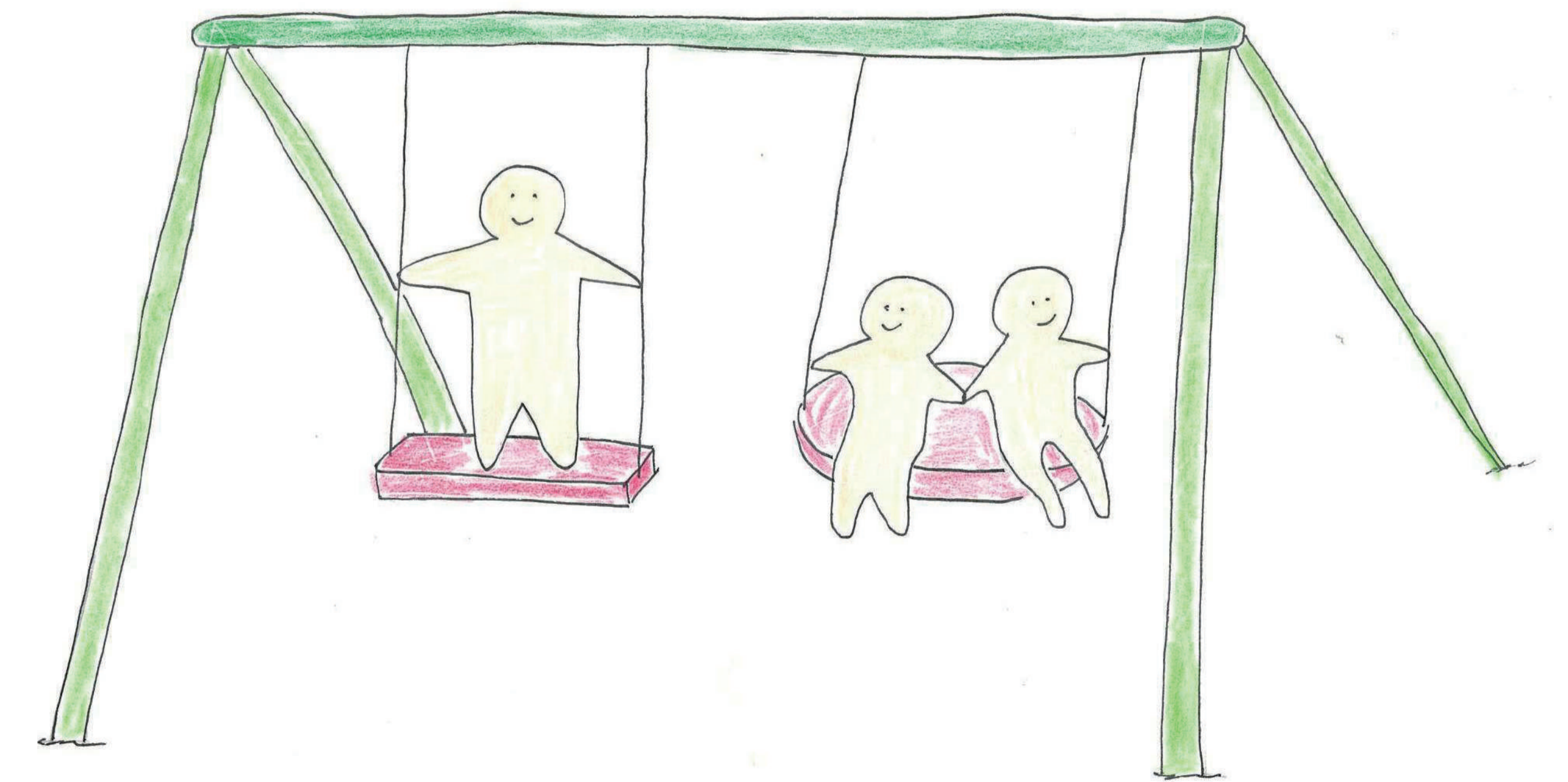
公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。

## ⑤音を楽しむ遊具



声が地面を伝って伝わる遊具。通話口は2つの高さがあり、身長差に配慮している。

公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。





# (仮称) 上高田五丁目公園 導入施設 (案) 誰もが遊べる遊具

基本計画(案)では子どもの遊び場ゾーンに、誰もが遊べる遊具の導入を計画しています。誰もが遊べる遊具には様々な種類があり、それぞれ遊びの要素が異なります。以下は導入を検討している遊具例になります。どの遊具が公園にあるとよいか、いいね!と思った遊具にシールを貼ってください。また、誰もが遊べる遊具についてご意見などがある方はふせんに記入して、⑩その他のマスに貼ってください。

## ⑥クッション系遊具



周囲の子が飛んだ影響を受け難いので小さな子も安心して楽しめる。車椅子からの乗り移りもしやすく同じ空間を共有できる。

公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。

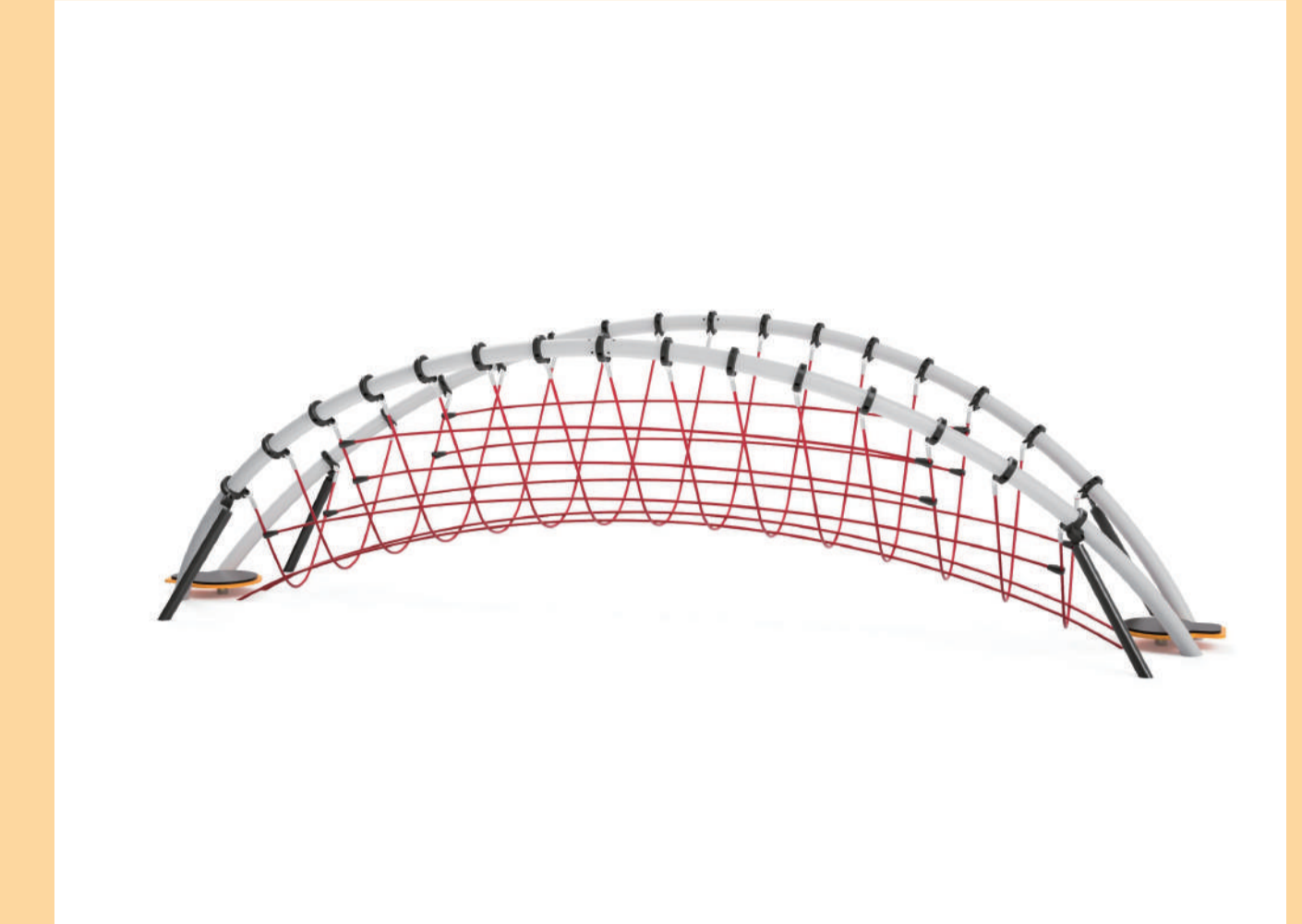
## ⑦パネル系遊具



コミュニケーションを促すパネルがたくさんついた迷路の遊具。ひよこの足跡を触ってたどっていく遊びもできる。

公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。

## ⑧ネット系遊具



最大10人程度と一緒に遊ぶことができる。子どもたちは手を取り合ってバランスを取り、協力して進んだりすることで、コミュニケーションが生まれやすい遊具である。

公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。

## ⑨砂場



テーブルに高低差があるので車椅子に座ったままお友達と一緒に砂遊びを楽しめる。

公園にあるといいね!と思ったらシールを貼ってください。

## ⑩その他

誰もが遊べる遊具についてご意見のある方は、ふせんに記入してこちらに張ってください。

